

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4年度実績報告書

令和5年8月7日

福岡県新宮町

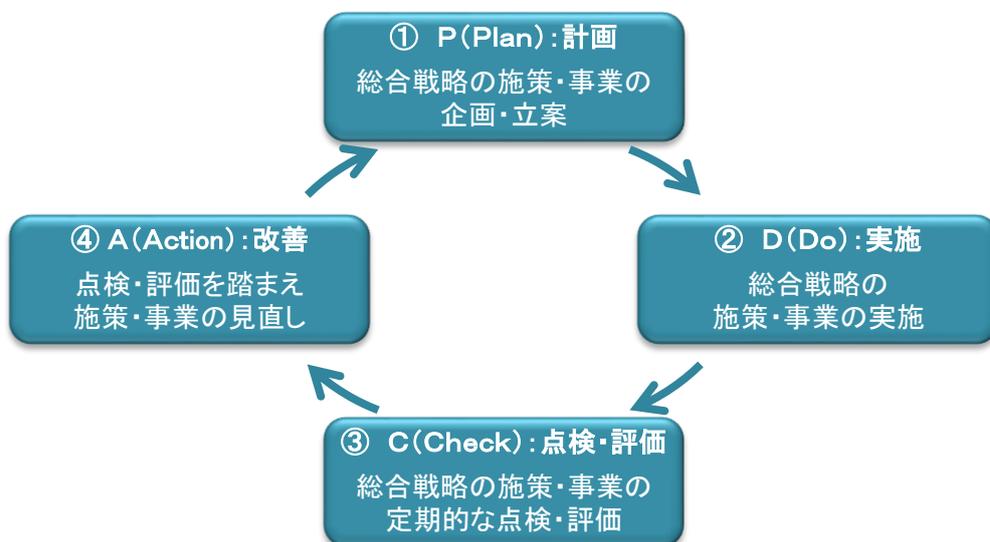
【はじめに】

1 総合戦略の位置付け

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という。）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年（令和6（2024）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

2 施策検証について

国の総合戦略における政策4分野ごとに設定した数値目標や国の各政策分野の具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（目標値）を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者などの参画により検証し、必要に応じて新宮町総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクル※を確立させ、適切な進行管理を行うこととしています。



※PDCAサイクルとは、Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検・評価)、Action(改善)のプロセスを実施し、最後の改善(A)では評価(C)の結果から、最初の計画(P)の内容を継続・修正・破棄のいずれかにして、次回の計画(P)に結びつける。このらせん状のプロセスを繰り返すことにより、品質の維持・向上及び継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

3 持続可能な開発目標（SDGs）について

SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS) は国際社会全体の普遍的な目標で、「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、「経済」「社会」「環境」をめぐる広範囲な課題に対して統合的に取り組むもので、令和 12 (2030) 年を期限とする包括的な 17 の目標と、目標を達成するための 169 のターゲットで構成されています。

新宮町総合戦略においては、SDGs の理念に沿って地域活性化の取組を行い、持続可能なまちづくりをめざしていきます。



【人口目標及び現状】

1 人口目標について

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、将来にわたって活力ある地域社会を維持するために、出生率の向上と大幅な開発後も転入と転出が概ね均衡を保つよう各施策に取り組み、令和42(2060)年においても人口が32,000人を確保することを目的としています。

2 人口ビジョンと人口実績の比較

人口ビジョンと人口の実績の比較では、令和2(2020)年においては人口ビジョンのパターン1(※1)パターン2(※2)よりも増加していましたが、令和4(2022)年においては、令和2(2020)年よりも減少し、パターン2よりも低位で推移しています。

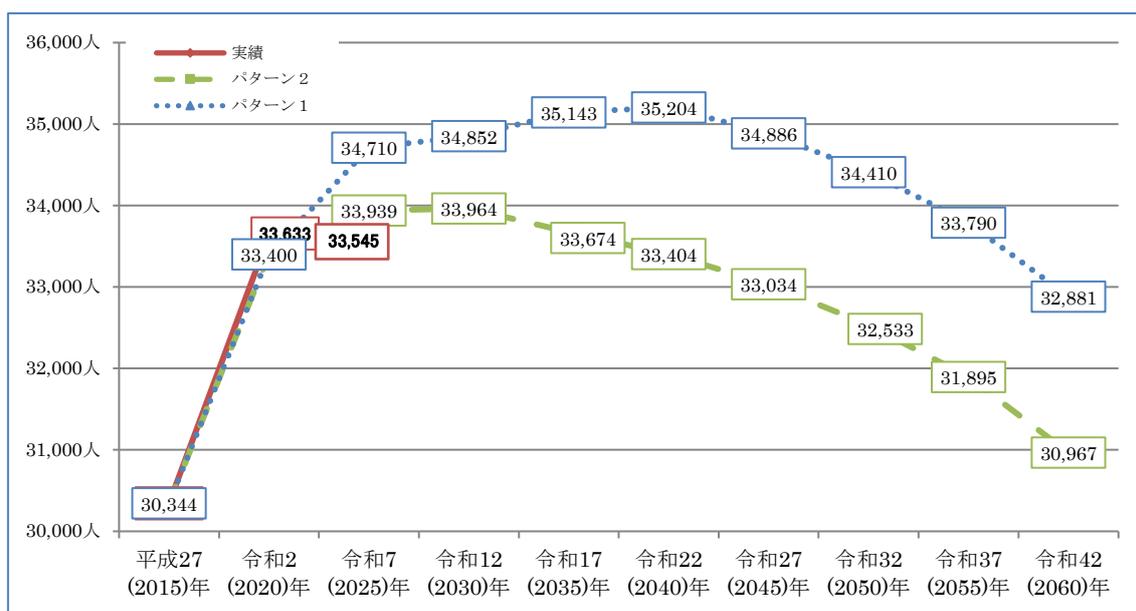


図1 人口ビジョン及び人口比較

※1:「パターン1」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成しながら、開発に伴う転入超過傾向が維持される場合の想定。

※2:「パターン2」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成する一方、開発に伴う転入超過を見込まない場合の想定。

3 年齢3区分別人口による人口ビジョンの比較と推移

年齢3区分別人口の比較では、年少人口の減少に伴う人口減少が顕著となっています。

年齢区分	令和2 (2020)年		令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和7 (2025)年	
	パターン1 パターン2	実績	実績	実績	パターン1	パターン2
0～14歳	7,073	6,880	6,702	6,492	6,766	6,507
15～64歳	20,346	20,569	20,612	20,610	21,306	20,845
65歳以上	5,981	6,184	6,309	6,443	6,638	6,587
合計	33,400	33,633	33,623	33,545	34,710	33,939
0～14歳	21.2%	20.5%	19.9%	19.4%	19.5%	19.2%
15～64歳	60.9%	61.2%	61.3%	61.4%	61.4%	61.4%
65歳以上	17.9%	18.4%	18.8%	19.2%	19.1%	19.4%

【基本目標ごとの実績】

<基本目標1>

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

(方向性)

新宮町総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のPRや育成にも取り組んでいきます。

また、農林漁業については、豊かな自然資源と好立地を活かした販路の拡大や担い手の確保にも取り組んでいきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
町内事業所数 (件)	1,155	1,250	1,282	1,327	1,378	1,200

(資料：市町村税課税状況等の調査 法人税納税義務者)

＜基本目標2＞

地域への新しいひとの流れをつくる

（方向性）

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた施策を進めます。人口増加地域においても、将来的なU I Jターンにつながる地域への愛着の形成や地元就職などの促進、シティプロモーション活動を図っていきます。

人口減少地域においても、個別の現状を踏まえて定住化を図り、様々な世代や来訪者との交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

さらに、観光客や来訪者に向けた周遊の仕組みなどを提供し、地域経済の活性化を図る取組を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
平均日中 滞在人口 (人)	26,969	27,485	28,522	28,581	27,987 (速報値)	28,800

（資料：地域経済分析システム）

＜基本目標3＞

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

（方向性）

若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援や子ども・子育て支援の充実を図っていきます。また、家族が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

また、外国人が地域へなじむことができるよう、多言語による支援や地域との橋渡しができる体制の構築を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
合計特殊出生率 (%)	1.90	1.86	1.78	1.75	1.72	1.94

＜基本目標4＞

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(方向性)

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に沿った新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
自治会加入世帯率 (%)	82.0	80.4	80.0	83.2	79.1	90.0

【基本目標ごとの施策】

＜基本目標１＞

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

施策－１ 地域経済を牽引する企業誘致・育成に資する取組

本町の交通利便性など好立地の環境を活かした、流通業務施設、商業施設などの誘致や立地を積極的に推進するとともに、誘致や立地に必要な環境づくりに努め、地域を牽引する企業育成を進めていきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・ 区画整理事業を推進している「下府地区」及び「三代地区」については、いずれも令和４年度に事業認可を受け、土地区画整理組合を設立しました。「下府地区」は令和４年度から、「三代地区」は令和５年度以降に工事に着手することとしています。
- ・ スマートインターチェンジについては、令和７年度に国の事業化決定を行うことを目標とし、検討内容について協議を進めました。
- ・ 企業版ふるさと納税実施要綱の制定、地域再生計画の国の認定を受け、企業版ふるさと納税を活用できる体制を整備しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
流通業誘致数 (件)	—	—	0	0	0	1
商業施設誘致数 (件)	—	—	0	0	0	3
その他企業の誘 致数 (件)	—	—	0	0	0	1

施策－２ 中小・個人事業者の生産性向上に資する取組

本町の好立地を活かした企業の誘致や消費拡大を図るとともに、商工会との連携を図りながら、既存商店や事業所の活性化のため、情報交換の場を充実させ、魅力づくりを研究していきます。また、町内製品のPRや特産品開発の支援を進めていきます。

① 令和4年度取組の概要

- ・特産品の開発について、過去に開発した商品に加え、令和4年度は、相島活性化協議会と九州電力が共同で開発した相島の鮮魚を使用した『相島海幸棒ずし』の販売を開始しました。
- ・おもてなし協会が実施した『たべりい新宮！地産地消キャンペーン』やマルシェイベントの開催により、新宮町内の飲食店の利用促進を図りました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
特産品開発数（品）	—	5	5	7	9	5
情報交換の場の創設数（件）	—	—	0	0	0	5
販路拡大の件数（件）	—	—	1	2	3	10

施策－3 創業や事業承継による地域産業の活性化に資する取組

地域経済の継続的な振興を行うためにも、地域発の創業を支援するとともに、IoT等の新たな産業の活性化や、新たな働き方に合わせた環境を整備する必要があることから、商工会・金融機関などとも連携を図り事業承継や、新たに創業しやすい環境の整備を進めていきます。

① 令和4年度取組の概要

- ・4町（粕屋町、篠栗町、久山町、新宮町）の行政と商工会で共同開催する創業塾に、町内から18名が参加者しました。また、1名が新たに創業しました。
- ・在宅ワーク等の新たな働き方に対応した就職支援講座を実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
新規創業の数（件）	—	2	2	4	5	3

施策－４ 農業の振興、農商工連携等に資する取組

本町の特性を活かした農業環境を充実させ、農業の活性化に取り組むため、付加価値の高い特産品などの開発や農業者の育成・支援に努めます。

また、荒廃農地などの利用促進を図るため、未利用農地の活用とともに、新たな担い手などの育成に努めます。さらに、子どもたちへの地産地消の意識付けのために、学校給食での地元食材の活用などの推進に努めます。

① 令和４年度取組の概要

- ・ 認定農業者協議会や県、農協などと連携して、農作物の輸出促進に係る研修会、イチゴハウスの先進地視察等を実施しました。
- ・ 地域おこし協力隊が町内の荒廃農地を再生利用して農作物を栽培しました。
- ・ 地産地消の推進のために、ひとまるの里からは相島小中学校の給食を中心に供給を行いました。また、他の小中学校には農協を中心に給食の供給を行いました。
- ・ 猟友会会員数が１名増加し、２１名となり、駆除体制の強化を図ることができました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
認定農業者数（人）	21	22	22	22	22	23
ひとまるの里の売上高 （千円）	253,087	248,049	267,105	244,835	228,253	255,000
ふるさと納税の返礼品に おける農作物の売上高 （千円）	270,000	311,000	411,700	392,463	484,413	300,000
有害鳥獣被害額（千円）	9,750	8,760	9,072	8,693	7,475	8,000
体験農園の数（箇所）	4	4	5	5	5	5
農業法人の耕作面積（a）	0	0	19	19	41	40

施策－５ 水産業の振興、農商工連携等に資する取組

相島における漁業経営の安定化を目指しつつ、漁業者の新しい漁業へのチャレンジを促進するため、漁協や漁業従事者と協議を進めながら、新たな漁業や直販などを検討するとともに、漁業の担い手の育成・支援にも努めていきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・ 離島漁業再生支援交付金を活用し、ウニやアワビの種苗放流による継続的な漁場の再生活動に取り組みました。また、いけま売り等のイベントで共同販売活動に対する支援により、漁業従事者の所得増へとつながる取組を行いました。
- ・ 水産業を振興するための交流拠点の整備に向け、調査・研究を行いました。
- ・ 経営体育成総合支援事業を活用し、漁業の後継者確保につなげるための支援を漁協と連携して行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
漁業従事者の所得 (万円)	160	170	213	272	176	180
新規販路数 (件)	—	—	1	1	1	2

＜基本目標2＞

地域への新しいひとの流れをつくる

施策－1 将来的なUIJターンや地元の就業の促進に資する取組

地域の少子高齢化も大きな課題ではありますが、同世代の偏りが大きい地域でも将来、急激な高齢化の到来が懸念されます。将来を見据えUIJターンなどで地元での就業や定住につなげるため、郷土への愛着の醸成に取り組みます。

① 令和4年度取組の概要

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていなかったコミュニティスクールや地域学校協働活動、おもてなし協会主催の体験イベント等について、感染対策を講じながら実施しました。
- ・町の広報誌やホームページだけでなく、新聞やフリーペーパー誌及びテレビ局と連携し、積極的に町の魅力を発信し、シティプロモーション実施数を伸ばすことができました。
- ・ふくおか町村フェア、西鉄電車まつり、アビスパ福岡フレンドリータウン応援デーなどにおいて、町内産品や観光PRを実施し、町の魅力発信を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
シティプロモーション実施数（累計・件）	4	4	4	11	18	20

施策－2 関係人口づくりや、地方創生を担う人材・組織の確保に資する取組

本町には大型商業施設などがあり、週末には町外から多くの方が訪れています。また新たに住民になった人も多くいます。町内居住者に限らず、新宮町での消費活動・地域活動・サークル活動などを行う人々をさらに町内の取組に関わっていただく仕組みづくりを進めます。

① 令和4年度取組の概要

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていなかったおもてなし協会主催の「新宮劇場」や子供向けの体験イベント「しんぐうキッズ自然塾・探検隊」を令和4年10月から再開しました。

- ・起業を目標に活動中である地域おこし協力隊員の支援を行いました。また、地域おこし協力隊員の能力向上や情報交換の場として、国や県からの研修会やイベントを紹介し、積極的に参加してもらいました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
体験型イベント参加者数 (人/年)	1,088	1,978	—※	—※	323	1,150
地域おこし協力隊人数 (人)	4	4	5	5	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－3 町内の人口減少地域(相島を除く)での定住促進や環境整備に資する取組

本町においては、国道3号東部の的野や立花口を中心とする人口減少が進む地域の地域活動の維持や活性化が求められています。そのため、幅広い世代の定住化に向けた仕組みや環境づくりに取り組むとともに、交流拠点の整備など地域の実情を踏まえた活性化や賑わいづくりの取組を進めます。

① 令和4年度取組の概要

- ・県が実施する空き家活用サポートセンター「イエカツ」の紹介や共同相談会への協賛などを実施しました。また、東京のふくおかよかこ移住相談センターで町勢要覧や観光パンフレットを配布してもらい、町のPRを行いました。
- ・昨年度に引き続き、空き家を探している人向けに商工会登録の不動産業者のリストを配布できる体制を整備しました。
- ・新宮町東部地区観光交流拠点施設『こみんかみかん』の利用促進のために駐車場整備を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
古民家交流拠点来場者数 (人/年)	—	—	—	3,484	3,354	1,000
空き家の利用件数(件)	—	—	—	0	0	2

施策－４ 相島における定住促進や環境整備に資する取組

相島活性化協議会を中心に、島の将来を見据えた「相島活性化プラン」の実現を島民との協働で進めるとともに、さらに地域振興につながる取組を進めていきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・相島の空き家の有効活用及び移住促進を図ることを目的に創設した補助制度について、移住者から申請があり、補助金を交付しました。
- ・お試し宿泊施設「stay house^{なつ}橋」の運営を支援し、移住促進を行いました。
- ・漁村留学においては、小学生 18 名、中学生 6 名を受け入れました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
空き家バンクマッチング件数 (件)	—	—	0	1	1	5

施策－５ 観光振興に資する取組

一般社団法人新宮町おもてなし協会を中心に商工会、農協、漁協などの関係団体と連携し、新たに開発された特産品や地元産品の販売などを通して観光PRを進めます。また、町内の自然、文化、産業などの資源や地域で活躍する人材を活用した観光イベントなどの実施を支援していきます。さらに、周辺市町と観光情報の発信やイベントを共催し、地元企業や町内活動団体との連携による観光振興を支援します。

① 令和４年度取組の概要

- ・新宮町おもてなし協会と連携し、事業所での体験イベント等の観光アクションプランに基づいた集客・交流の取り組みを実施しました。
- ・横大路家住宅やその周辺史跡について、国指定重要文化財として活用を図っていくにあたり、横大路家住宅周辺整備基本計画を作成しました。
- ・東京の「ふくおかよかこ移住相談センター」で町勢要覧や観光パンフレットを配布したほか、福岡都市圏事業の一環として糟屋地区共同で町内の観光スポット及び飲食店を「シティ情報ふくおか」への掲載やかすや特集の別冊版の発行を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
体験型イベント実施 事業所数（所）	20	13	—※	—※	4	25
宿泊施設数（件）	2	3	3	3	2	4
観光ガイド登録者数 （人）	0	0	0	0	1	5
観光イベント広域連 携数（件）	4	2	2	3	3	6
多言語案内実施箇所 数（箇所）	2	2	2	4	0	3

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

＜基本目標3＞

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

施策－1 結婚に資する取組

比較的若年層が多い本町では、地域の担い手として地域に残り、また、定着してもらう必要があります。このため、結婚を希望する人たちの出会いを支援します。

① 令和4年度取組の概要

- ・宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議(しこふむ)の婚活イベントを2回実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
出会いの場 支援件数(件)	1	2	3	5	7	3

施策－2 健やかな子育て支援に資する取組

妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、妊婦、乳児の健康状態の把握や必要な相談・指導を行うことができる体制を構築していきます。

① 令和4年度取組の概要

- ・産前・産後サポート事業を実施し16回、89組が利用しました。
- ・町内の校区ごとに担当の保健師を定め、妊娠届が出されたときから、一元的な要支援妊婦に対する支援計画を立案・実施しました。また、国の制度に基づき、伴走型相談支援及び経済的支援を開始し、妊産婦に寄り添った更なる支援体制の構築を図りました。
- ・かんがる一ひろばについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加組数を制限しながら事業を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
乳幼児健診未受診児の フォロー率 (%)	100	100	100	100	100	100
かんがるーひろば利用 者数 (人)	15,472	14,344	4,677	3,254	6,174	14,000

施策－3 子育て支援に資する取組

共働き世帯やひとり親家庭の増加など、新たな幼児教育・保育ニーズに的確に対応するとともに、就学前の子どもたちの健やかな成長と良好な子育て環境を充実していきます。また、子育てに関する負担などから就労等を断念する事がないよう、保育所等の充実を図ります。

① 令和4年度取組の概要

- ・病児保育の広域利用について関係機関と協議し、令和5年度から宗像市、福津市、古賀市、新宮町での広域利用を可能とさせました。
- ・誰でも安心して子育てができる環境を整備するため、子育て支援アプリの導入に向けた取り組みを行い、育児相談やこころの相談における利便性の向上を図りました。
- ・児童虐待予防・早期発見のために、児童相談所や警察、学校との連携を図りながら情報共有を行うとともに、広報への掲載やのぼり旗の設置、啓発物品の配布など啓発活動にも努めました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
保育所待機児童数 (人)	35	21	43	18	0	0
ファミリーサポート 会員数 (人)	260	329	320	317	319	330

施策－４ 義務教育期間の子育て支援に資する取組

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境を向上させていくとともに、子育てに関する情報共有や悩みを解決するため、地域での子育てを支援します。

① 令和４年度取組の概要

- ・通学路について、関係機関と現地調査を実施し、危険箇所の現状と今後の整備方針等について情報を共有し、令和４年度中に危険箇所の改善・整備が大幅に進みました。
- ・こども体験クラブを４回実施し、町の神社等を巡り歴史を学ぶ町内散策や宿泊を伴う野外活動などを通して、町内に住む子どもたちの交流を深めることができました。通学合宿は３年ぶりに２か所で実施がありました。
- ・ジュニアリーダー等の活動については、子どもリーダー研修会での運営サポート、通学合宿の実施やまつり新宮への出店、スポーツ交流会への参加などを通して、活躍することができました。
- ・子ども医療費について、福岡市が助成内容を拡充したことに伴い、糟屋地区でも通院・入院の自己負担について助成内容の見直しをする方向で協議を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
通学合宿実施箇所数（箇所）	6	6	—※	—※	2	8
ジュニアリーダー等活動回数（回）	12	12	1	4	12	15
学童保育所待機児童数（人）	57	53	45	5	52	0
就学援助支給基準（倍） ※生活保護基準をベースとする	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－５ 男女、多文化な人材がともに参画し支え合う環境づくりに資する取組

女性の社会進出が進む中、自らの意思・選択に応じて働くために、労働環境や職場風土など、働きやすい環境づくりや女性の再雇用について推進していくとともに、働く人々が仕事と家庭の両立ができる環境づくりを支援していきます。

また、外国人が増加することが見込まれることから、お互いの文化を尊重した地域社会の創造に努めます。

① 令和４年度取組の概要

- ・まつり新宮での啓発物品の配布や強調月間における横断幕の設置、広報、ホームページでの周知等を行い、男女共同参画の啓発活動を行いました。
- ・障がい者が就労しやすい環境づくりの支援として、令和４年度は「福津市・古賀市・新宮町障害者地域支援ネットワーク協議会」の就労支援部会で、模擬合同面接会と支援者向けセミナーを実施しました。
- ・宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議(しこふむ)において、外国人住民を円滑に地域に受け入れるため「やさしい日本語講座」を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
町内企業への男女共同参画啓発件数(件)	2	1	1	1	3	7
町民への男女共同参画啓発件数(件/年)	0	2	2	3	5	1
男性のパパママ教室参加者数(人)	48	36	32	39	51	増加

＜基本目標4＞

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策－1 高齢者の就労や活動参画など生涯活躍に資する取組

定年後も、健康で自立した生活を送りたい高齢者の就業や、地域活動への参画を支援し、生涯活躍のまちづくりを進めます。また、ひとり暮らしの高齢者などへの声かけや、健康教室などの行事への機会を提供し、社会参加を支援します。

① 令和4年度取組の概要

- ・就業の機会を提供し、高齢者の生きがいづくりや地域貢献の活性化を図ることを目的としているシルバー人材センターに継続して助成金を交付しました。また、65歳到達時の介護保険被保険者証交付会資料郵送時、シルバー人材センター加入勧誘チラシを配布しました。
- ・地域住民が主体となり、自主的、自発的に地域の介護予防に資する活動を展開する住民主体の通所型サービス13団体に対して、助成を行いました。また、地域サロンや介護予防教室が少しずつ再開され、高齢者の通いの場や交流機会が増えました。
- ・生涯現役チャレンジセンター（旧70歳現役応援センター）やはつらつコミュニティなど高齢者の就労を応援する団体のチラシ設置や講演会を広報紙等で紹介しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
シルバー人材センター 会員稼働率（%）	100	90	90	93	92	100
介護予防活動の参加人数（人）	943	924	518	455	461	1,000

施策－２ スポーツ等の健康まちづくりに資する取組

「スポーツ推進（振興）計画」の策定を進め、健康でいきいきと活動できる機会や場の提供をしていきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・ 3年ぶりにウォーキングイベント「ヘルシーウォーク」やスポーツ推進委員と連携した「いきいき運動・健康フェスタ」を開催しました。
- ・ アビスパ福岡フレンドリータウン事業として、アビスパ福岡の選手と町スポーツ協会所属のジュニアサッカー団体、中学校サッカー部との交流会を実施しました。
- ・ スポーツ振興くじ助成金を活用し、新宮町杜の宮テニスコート夜間照明設備改修工事を実施しました。また、新宮ふれあいの丘公園内にパークPFIの手法により、公園施設としてテニスコートを誘致し、令和５年３月にオープンしました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
プロスポーツチーム 連携事業数（件）	－	－	1	1	1	3
ウォーキングイベント の参加者数（人）	471	470	－※	－※	281	500

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－３ 防災・防犯等の安心して暮らせるまちづくりに資する取組

近年の局地的集中豪雨などの大規模な自然災害の発生を踏まえ、災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画や防災マップ（ハザードマップ）を適宜見直し、住民の安全確保や支援に取り組んでいきます。また、定期的な防災訓練や自主防犯活動などを支援するとともに、防災・防犯の体制づくりや施設の整備・改修を計画的に実施していきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・ 分団格納庫の修繕や小型ポンプ積載車の更新など、消防団施設の整備を行いました。
- ・ 一部の行政区で防災専門官による防災講話や防災講習を実施し、防災意識の向上を図りました。また、自主防災組織は1団体増えました。
- ・ 町内一斉安全安心パトロールの実施や、町広報誌で防犯団体の活動の紹介などを行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
自主防災組織の 数（団体）	7	7	8	11	12	12
消防団員数 （人）	238	238	239	240	226	246
自主防犯団体の 組織数（団体）	3	3	3	3	3	6

施策－4 地域コミュニティの維持や、まちづくり活動の活性化に資する取組

今後のまちづくりを進めるに当たり、新興住宅地区や高齢化の進む地区などの地域の特性を踏まえたコミュニティの在り方について検討し取り組んでいきます。

① 令和4年度取組の概要

- ・まちづくり活動支援団体については、子育て支援やコミュニティの活性化に取り組む新規団体の登録があり、団体数は増えました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
まちづくり活動支援団 体登録数（団体）	23	20	21	20	21	30
協働のまちづくり研修 参加人数（人）	103	123	—※	—※	0	150

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－５ 自然環境の保全やSDGs等の持続可能な社会づくりに資する取組

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を検討し推進します。

① 令和４年度取組の概要

- ・雨天のため新宮町クリーン作戦の海岸清掃は中止となりましたが、行政区、企業、ボランティア団体による清掃活動や学生と連携した楯の松原保全活動を実施しました。
- ・福岡県森林環境税を活用し、主的野区内の森林において、強度間伐と侵入竹伐採の荒廃森林整備工事を実施しました。
- ・まつり新宮において、環境課題に対するパネル展示などを行い、SDGsの啓発を行ったほか、離島振興計画の策定にあたり、SDGsの理念を取り込みました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
新宮町クリーン作戦 参加者数（人）	2,200	—*	—*	—*	—*	2,400
松林保全活動参加者数 （人）	833	752	107	184	468	840
森林整備面積（ha）	46.1	60.4	71.5	78.7	86	130
SDGs啓発回数 （件）	—	—	4	4	6	5

※新型コロナウイルス感染症や雨天により中止したため「—」で表記。

施策－６ 地域交通等のインフラの維持や最適化に資する取組

利用者ニーズや外国人の来訪を踏まえながら、最適で安定したバスや渡船の運行、利用しやすい公共交通機関としての環境整備に取り組んでいきます。

① 令和４年度取組の概要

- ・コミュニティバスについては、バス位置情報システムの利用拡大を図るため、各バス停にQRコードの表示を実施しました。また、バス停の修繕にあわせローマ字表記を追加しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
案内表示の多言語化 実施件数 (件)	—	—	4	4	4	10
西鉄新宮駅乗降客数 (人/日)	1,422	1,428	1,172	1,222	1,364	1,600

施策－7 地域におけるSociety 5.0の推進に資する取組

産業構造の変化に柔軟に対応できるよう、本町の産業への情報提供などを進めるとともに、行政の機能も新たなサービスなどに対応し利便性のよい仕組みの導入などを進めていきます。

① 令和4年度取組の概要

- ・地域及び庁内DX推進の検討を実施し、個人情報のデータ移行にRPA、ふるさと納税の質疑回答にAIチャットボット、紙媒体のデジタル化にAI-OCR、公用車乗車記録にローコードツールの試行を行いました。
- ・一般社団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）の地域イノベーション連携モデル事業に本町が採択され、福岡工業大学の学生やNTT西日本の社員と連携し、デザインシンキングのワークショップやデータ分析・活用による地域課題の整理と課題解決に向けた施策の検討を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	現在値 (R4)	目標値 (R6)
オープンデータデータ セット数 (件)	4	4	4	5	5	10
未来技術活用事例件数 (件)	—	—	1	4	4	5